

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	文学研究科
大項目	5 学生の受け入れ (研究科)
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 3専攻12領域(後期課程11領域)の適切な収容定員について検討し、学生数を安定的に確保する。	→専攻別、入学定員充足率、領域別入学者数、在籍大学院生数と収容定員の割合。	B	B	B	B	B
2. 新基本構想「垣根なきラーニングコミュニティ(学びと探求の共同体)」で学ぶ大学院生像を具体化する。	→大学院入試におけるアドミッション・ポリシーの明文化と周知度。	C	C	B	A	A
3. 大学院受験者枠(一般・特別(外国人)・社会人・推薦)の募集方法および入学者選抜方法の適切性を確保する。	→各受験者枠における志願者、合格者、入学者の収容定員に対する割合。	B	B	B	B	B
4. 文学研究科における科目等履修生制度を導入する。	→資格申請のために必須となる科目の特定化とWEB上シラバスでの科目等履修許可の明示。	C	B	B	A	A

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 研究科執行部・事務室を主体に、大学院学生の協力を得ながら、大学院説明会を毎年複数回実施してきた。教務機構主催の全学説明会の実施後も、研究科独自の説明会を行っている。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 説明会には毎年多数の学生が参加しており、現役院生の声も聞けて良かったなどの好意的な感想が寄せられている。一方で、志願者数・入学者数は、全学的な比較で見ると良好とは言えるものの、減少・停滞状況にある。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 引き続き、説明会の実施などを継続するが、志願者数・入学者数の減少・停滞は研究科に固有の問題と言うよりも、全国的な趨勢でもあり、その点の分析こそ求められる。適正な収容定員については全学的な検討が急務であろう。	☆
		その他	
			☆
目標2	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 文学研究科前期課程は高度な専門的知識を教授することによって知識基盤社会を支える知的な素養を持つ人材を育成し、後期課程は研究のさらなる深化・発展を通じて現代の高度な学問の進展に応じた博士学位を持つ研究者を養成することを目指しており、それらを同研究科のアドミッション・ポリシーとして明文化して、各年度の入学試験要項に記載し、あわせてHP上で公開して周知をはかっている。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か アドミッション・ポリシーに掲げられた質を担保するために厳格な入学試験を実施しており、大学院教育に相応しい学生を受け入れるようにしている。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 適正な収容定員の検討を行いつつ、引き続き厳格な入学試験の実施を通じて質の担保をはかる。	☆
		その他	
			☆
目標3	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 正規学生(一般・推薦)・社会人・外国人留学生を対象として、入学試験を前期課程は9月と2月に、後期課程は2月に実施している。学生募集方法としては大学院案内や文学研究科のホームページを用いるほかに、6月と11月に入試説明会も開催した。入試の実施にあたっては問題の作成から筆記試験の実施、面接、採点および選抜にいたるまで厳格で透明性の高い手続きを踏んでいる。また過去に出題された問題の公表も行っている。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 入学試験は適切に実施されている。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 引き続き、入学試験を適切に実施する。	☆
		その他	
			☆

目標4	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 2011年度に科目等履修制度を導入し、学生募集・選考・履修等を円滑に実施している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 2013年度は研究科における科目等履修制度の利用者はいなかった。単位修得を目的としたこの科目等履修制度よりもむしろ、これと並行して設置している聴講制度(単位修得なし)を利用するものが多いのが実情である。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 国レベルでの大学制度全般の改編の中で科目等履修制度を設けることが要請され、本研究科もそれに対応して制度化を進めたが、実態的には聴講制度がより多く利用されており、当面は両制度を併存して運用することとなろう。	☆
		その他	☆
			☆
備考			☆

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【文学研究科】		前期/後期課程	単位	2010	2011	2012	2013	2014	備考
指標1	入学定員	前期課程	名	64	64	64	64	64	・5/1現在
		後期課程		20	20	20	20	20	
指標2	志願者総数	前期課程	人	66	81	78	64	62	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
		後期課程		23	9	19	20	18	
指標3	合格者数	前期課程	名	53	58	59	47	44	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
		後期課程		22	9	17	18	17	
指標4	入学者数	前期課程	名	52	57	56	41	42	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
		後期課程		22	9	15	18	17	
指標5	志願者倍率	前期課程	倍	1.0	1.3	1.2	1.0	1.0	・5/1現在 ・志願者÷入学定員
		後期課程		1.2	0.5	1.0	1.0	0.9	
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	前期課程	倍	0.84	0.83	0.86	0.77	0.78	
		後期課程		1.02	0.85	0.78	0.79	0.81	
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	前期課程	%	80.8%	61.4%	71.4%	75.6%	71.4%	・5/1現在 ・一般入試入学者数÷入学者数
		後期課程		31.8%	33.3%	40.0%	27.8%	17.6%	
指標8	収容定員	前期課程	名	128	128	128	128	128	・5/1現在
		後期課程		60	60	60	60	60	
指標9	在籍学生数	前期課程	名	111	117	120	105	97	・5/1現在
		後期課程		56	43	43	44	48	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	前期課程	%	86.7%	91.4%	93.8%	82.0%	75.8%	・5/1現在
		後期課程		93.3%	71.7%	71.7%	73.3%	80.0%	